

Multi LABELIST V6 シリーズ Ver.6.2.2.0

トピックス

No.	内容	
1	機能追加	可変長印字機能に対応しました。*
2	機能追加	バーコード、2次元コード、合成シンボルのデータをチェックする機能を追加しました。
3	機能追加	カラープリンタ「NP-128F」「CW-C8020シリーズ」に対応しました。
4	機能追加	プリセットグラフィックに洗濯表示記号(JIS L0001:2024)を追加しました。
5	機能追加	複数のオブジェクトを一括して設定できる項目が増えました。*
6	機能追加	用紙方向を尻出しにしたときの位置ズレを改善しました。*
7	機能追加	古いレイアウトをメンテナンスする際の作業負荷を軽減しました。

*Ver.6.2.1.0が未公開バージョンのため、Ver.6.2.1.0で対応した機能も合わせて記載しております。

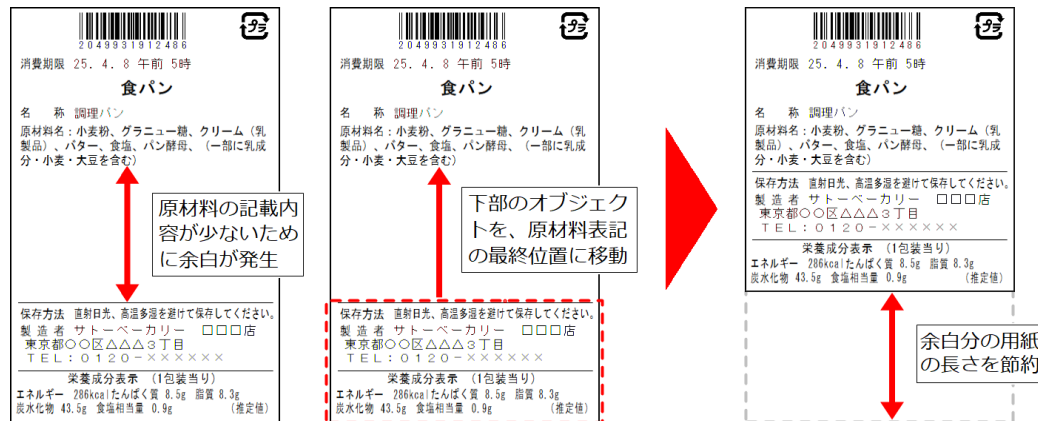
1.可変長印字機能に対応

対象

MLV6 Standard	MLV6 Lite	MLV6 Plus	MLV6 Enterprise	ML Component	ML Component Plus	ML Preview Component	ML WebEngineCS
------------------	--------------	--------------	--------------------	-----------------	----------------------	-------------------------	-------------------

■機能紹介

アイテムによって異なるデータの長さや項目の印字有無に合わせて、ラベル自体の長さを可変で印字できるようになりました。商品毎に原材料の記載内容が変わる食品表示ラベルで活用できます。ノンセパラベルやジャーナル紙など連続紙を使用します。



メリット

- ラベル1巻で発行可能な枚数が増加し、**ラベルの節約**になります。
- 原材料の長さ毎にレイアウトを分ける必要がないため、**レイアウトの集約**になり、メンテナンス性が向上します。

利用方法

- WEBマニュアルの使いかたガイド「4.15可変長印字機能」をご参照ください。
- ▶ [「Multi LABELIST V6使いかたガイド」を参照](#)

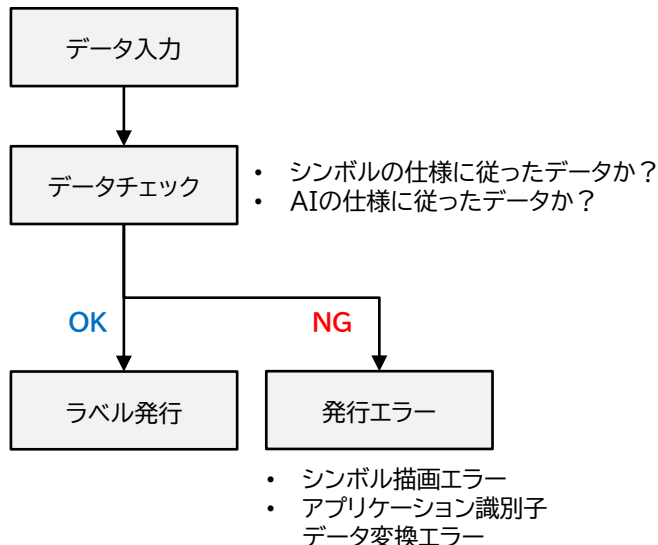
2.シンボルのデータチェック機能を追加(1/2)

対象

MLV6 Standard	MLV6 Lite	MLV6 Plus	MLV6 Enterprise	ML Component	ML Component Plus	ML Preview Component	ML WebEngineCS
------------------	--------------	--------------	--------------------	-----------------	----------------------	-------------------------	-------------------

■機能紹介

発行時にシンボル(バーコード、2次元コード、合成シンボル)に入力されるデータをチェックし、各シンボルやGS1アプリケーション識別子の仕様に従った文字種や桁数ではない場合に、発行エラーとします。誤ったデータでシンボルが描画されず、**不正なラベルが発行されることを未然に防止**します。



例1. QRコードで指定したバージョンにデータが収まらない場合
バージョン:2(25x25)、エラーコレクションレベル:ミドル(15%)

「https://www.sato.co.jp/」を入力

⇒発行OK

「https://www.sato.co.jp/support/」を入力

⇒発行NG(バイナリ26桁以上は格納できない)

例2. AIの書式にデータが従っていない場合
AI:21(シリアル番号)、書式:an...20(英数記号、最大20桁)

「123-456」を入力

⇒発行OK

「123@456」を入力

⇒発行NG(「@」は使用可能な記号ではない)

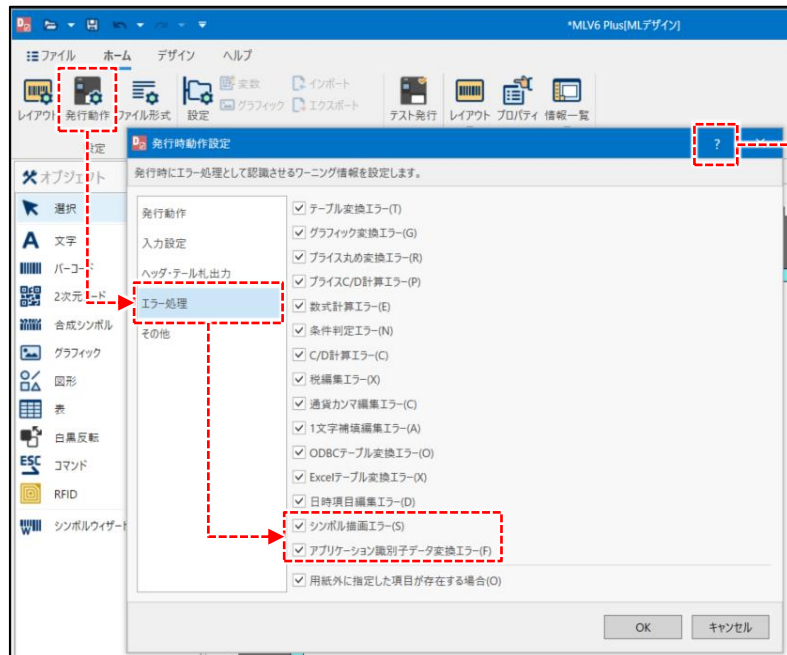
2.シンボルのデータチェック機能を追加(2/2)

対象

MLV6 Standard	MLV6 Lite	MLV6 Plus	MLV6 Enterprise	ML Component	ML Component Plus	ML Preview Component	ML WebEngineCS
------------------	--------------	--------------	--------------------	-----------------	----------------------	-------------------------	-------------------

設定方法

[発行時動作設定]-[エラー処理]-[☒シンボル描画エラー]/[☒アプリケーション識別子データ変換エラー]



MLデザインやMLプリントのヘルプで使用可能な文字や有効な桁数が確認できます。

14	シンボル描画エラー	条件 無効時	:シンボルが描画出来ないデータがセットされる :シンボルは印字されません。
15	アプリケーション識別子データ変換エラー	条件 無効時	:アプリケーション識別子の書式と一致しないデータがセットされる :シンボルは印字されません。
16	用紙外に指定した項目が存在する場合	条件 無効時	:用紙外に指定した項目が存在する :設定された用紙外の位置で印字します。 項目が一部用紙外にはみ出すなどの問題が発生します。

<補足>

(1) シンボル描画エラーは使用できない文字や桁数が指定された場合にエラーとなります。

・バーコード

シンボル種類	使用可能文字	桁数
JAN13	数字	11 桁～13 桁
JAN8	数字	7 桁～8 桁
UPC-A	数字	11 桁～12 桁
UPC-E	数字	6 桁
CODABAR(NW-7)	・データ部 \$、+、-、... /、0～9、: ・スタート/ストップ	-

3.カラープリンタ「NP-128F」「CW-C8020シリーズ」に対応

対象

		MLV6 Plus	MLV6 Enterprise		ML Component Plus	ML Preview Component	
--	--	--------------	--------------------	--	----------------------	-------------------------	--

■機能紹介

カラープリンタ「NP-128F」「CW-C8020シリーズ」に対応しました。



NP-128F



CW-C8020シリーズ

4.プリセットグラフィックに洗濯表示記号(JIS L0001:2024)を追加

対象

MLV6
Standard

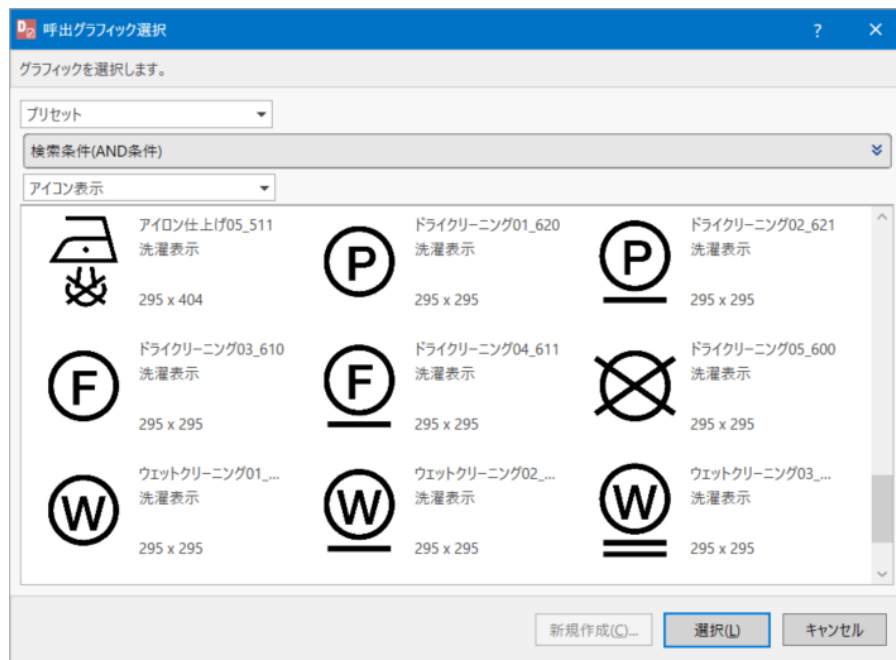
MLV6
Lite

MLV6
Plus

MLV6
Enterprise

■機能紹介

プリセットグラフィックに洗濯表示記号(JIS L0001:2024)を追加しました。



洗濯表示記号(JIS L0001:2024)の使用について

洗濯表示記号は、**日本国内で取扱う製品のみ**に使用可能です。
海外で提供する製品で使用する場合は、GINETEXの商標使用許諾が必要です。
詳細は下記のページをご参照ください。

<https://www.kaken.or.jp/foundation/business/ginetex>

5.複数オブジェクトの一括選択で設定できる項目を追加

対象

MLV6
Standard

MLV6
Lite

MLV6
Plus

MLV6
Enterprise

■機能紹介

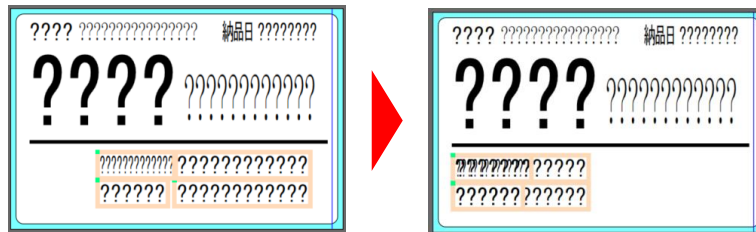
複数のオブジェクトを一括して設定できる項目が増えました。

「印字位置」「相対位置」「条件印字」「履歴保存」が設定できます。



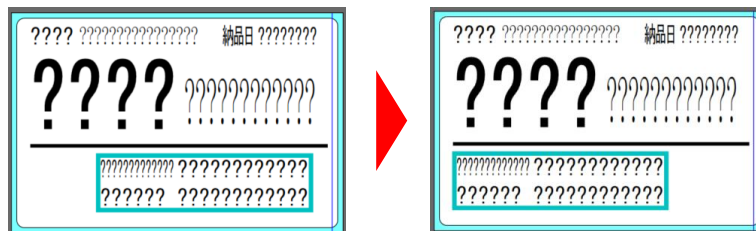
印字位置の一括設定

オブジェクトの複数選択時は、すべてのオブジェクトが指定した位置に移動します。



同じ位置になる。

グループ化している時は、全体の位置を保持したまま指定した位置に移動します。



個々の相対的な位置が
保持される。

6.用紙方向を戻出しにしたときの位置ズレを改善

対象

MLV6
Standard

MLV6
Lite

MLV6
Plus

MLV6
Enterprise

ML
Component

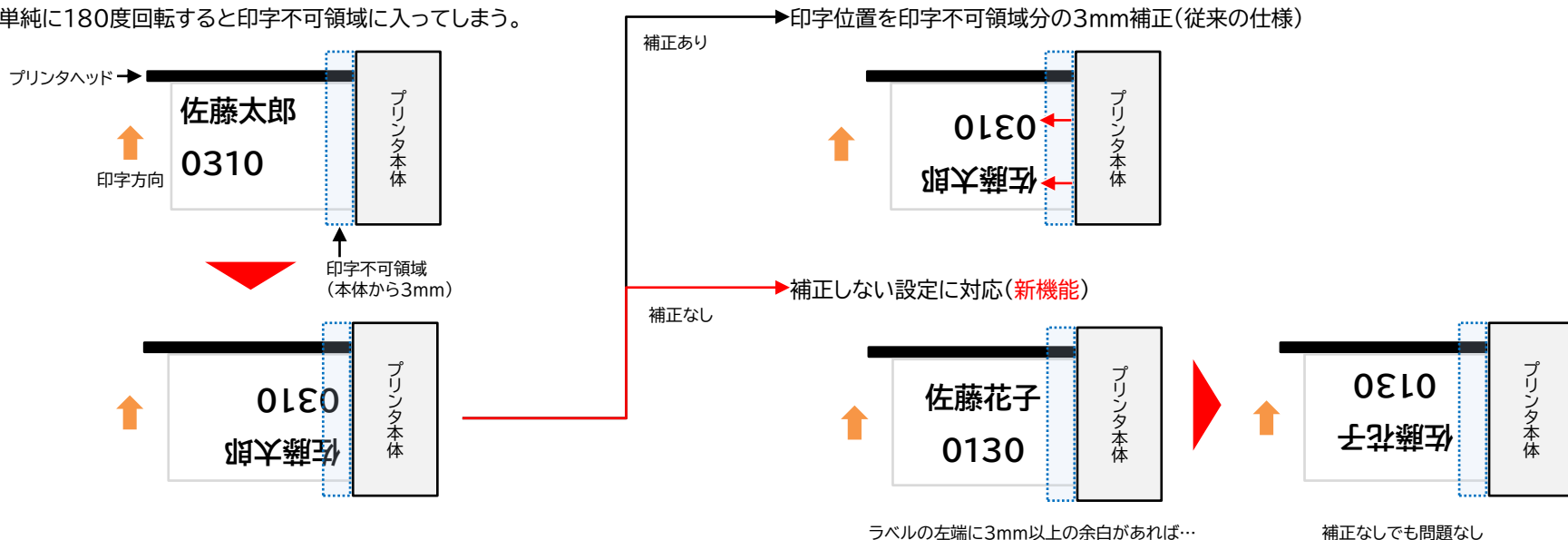
ML
Component Plus

ML
WebEngineCS

■機能紹介

用紙方向を頭出しから戻出しにした場合に、プリンタヘッドの印字不可領域を考慮して、横方向に数mm補正が入っていました。
印字不可領域に印字が入らなければ影響がありませんので、補正をしない設定を追加しました。

単純に180度回転すると印字不可領域に入ってしまう。



7.古いレイアウトをメンテナンスする際の作業負荷軽減

対象

MLV6
Standard

MLV6
Lite

MLV6
Plus

MLV6
Enterprise

■機能紹介

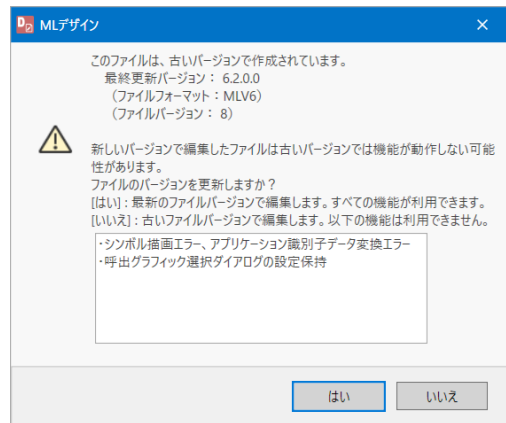
古いレイアウトを開いた時の確認メッセージを非表示に出来るようになりました。

オプションの基本設定で[ファイルバージョンの確認メッセージを表示する。]を無効にしてください。(デフォルトは「有効」です。)

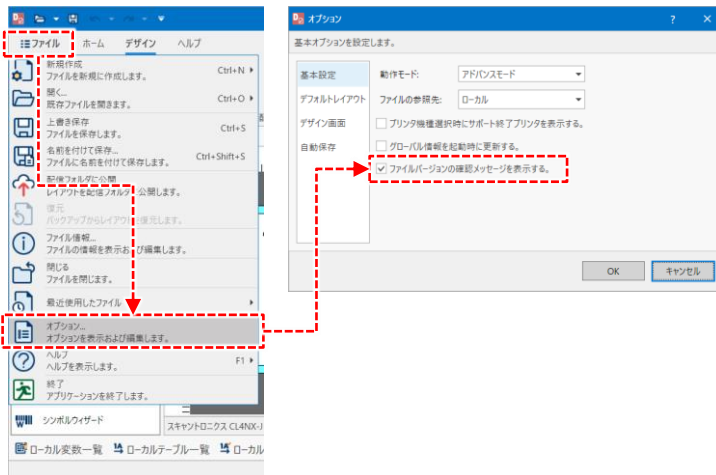
無効時はレイアウトに設定されたファイルバージョンで開きます。ファイルバージョンを変更する場合はファイル情報から設定してください。

また、古いファイルバージョンのレイアウトを保存する時の確認メッセージを廃止しました。

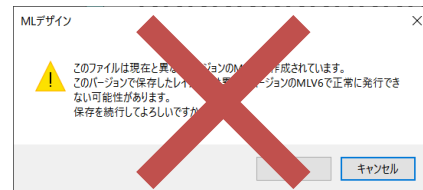
■開いた時の確認メッセージ ⇒ 非表示に切替可能



■設定画面



■保存時の確認メッセージ ⇒ 廃止



対応内容一覧

Multi LABELIST V6 Standard/Lite /Plus/Enterprise

■Ver.6.2.2.0

分類	内容
—	MLファイルのバージョンを「9」に更新
機能追加	バーコード、2次元コード、合成シンボルが描画できない場合に発行エラーとする機能を追加(発行時動作設定のエラー処理に「シンボル描画エラー」を追加)
機能追加	カラープリンタ「NP-128F」「CW-C8020シリーズ」に対応
機能追加	プリセットグラフィックに洗濯表示記号(JIS L0001:2024)を追加
機能追加	レイアウトを開いた時のファイルバージョン確認メッセージを非表示に切り替える機能を追加(オプションの基本設定に[ファイルバージョンの確認メッセージを表示する。]を追加)
仕様変更	古いファイルバージョンのレイアウトを保存する際に確認メッセージを表示しない仕様に変更
仕様変更	グラフィックオブジェクトの[呼出グラフィック選択]ダイアログの表示に関する仕様を変更 ・[表示形式]の「アイコン表示」で表示されるサイズを変更 ・オブジェクトの新規作成時に[対象]が「プリセット」、[表示形式]が「アイコン表示」で表示される仕様に変更 ・オブジェクトの追加作成時に前回選択した[対象]、[表示形式]で表示される仕様に変更 ・既存のオブジェクト選択時に、設定済みの項目が選択された状態で表示される仕様に変更
不具合	発行情報の分離を設定した場合に、可変長ラベルの紙送り量が保持されない件を対策
不具合	プレビューでUPC-Eのチェックデジットが2になる場合に読み取りできない件を対策
不具合	プレビューでCODE93が読み取りできない件を対策
不具合	Excel接続設定の取り込み対象で抽出条件のフィールド名に改行が使用されているとデータが取り込みできない件を対策
不具合	MLデザインのファイルメニューで[開く]を選択時に表示されるファイル選択ダイアログで、ファイル名を指定してEnterを押すとエラーになる件を対策
不具合	制御コードの存在するレイアウトが開けなくなる件を対策(Ver.6.0.3.0以降)

対応内容一覧

Multi LABELIST V6 Standard/Lite /Plus/Enterprise

分類	内容
不具合	可変長ラベルで複数行のデータで発行すると、すべてのラベルが最終行の用紙サイズで発行される件を対策
不具合	用紙方向[尻出し]で用紙種[可変長(ノンセパ)]を選択した時に、紙送り量が印字不可領域以下に設定できてしまう件を対策
不具合	リアルタイムプレビューが有効で可変長ラベルのレイアウトの場合に、プレビューボタンを押下したときの表示が可変長で表示されない件を対策

■Ver.6.2.1.0(Ver.6.2.2.0に含めてリリース)

分類	内容
—	MLファイルのバージョンを「8」に更新
機能追加	可変長印字機能を追加 ・対応機種 「CL4NXシリーズ」「CL6NXシリーズ」「CT4-LXシリーズ」「HC4-LXシリーズ」 「FX3-LX」「PW4NX」「PW208NXシリーズ」 ・用紙に「可変長(ノンセパラベル)」、「可変長(ジャーナル紙)」を追加 ・可変長ラベルのセンサタイプに「センサ無効」を追加 ・「可変長(ノンセパ)」設定時にデザイン画面に印字不可領域の表示を追加 ・オブジェクトの属性設定に相対位置設定を追加 ・印字詳細設定に可変長ラベルの紙送り量の設定を追加
機能追加	印字詳細設定で用紙方向が[尻出し(逆方向)]の場合の横位置補正を自動補正から選択可能に変更(設定値「横位置を補正する」を追加)
機能追加	複数のオブジェクト、またはグループ化したオブジェクトを選択した時の設定項目に、「印字位置」「相対位置」「条件印字」「履歴保存」を追加
不具合	ファイル、ODBC、Excelからデータ呼び出しを行うと入力チェック機能が影響してクリックしなければ入力できなくなる件を対策
不具合	ファイルバージョン2以下のソートファイルでファイルバージョン3以上のレイアウトファイルを使用した場合に[印字設定]が保存できない件を対策
不具合	表オブジェクトの全体が表示されていない場合に表を選択すると位置がずれる件を対策

対応内容一覧

Multi LABELIST Component/Multi LABELIST Component Plus/Multi LABELIST Preview Component

■Ver.6.2.2.0

分類	内容
—	MLファイルのバージョンを「9」に更新
機能追加	バーコード、2次元コード、合成シンボルが描画できない場合に発行エラーとする機能を追加(発行時動作設定のエラー処理に「シンボル描画エラー」を追加)
機能追加	カラープリンタ「NP-128F」「CW-C8020シリーズ」に対応(対象:Multi LABELIST Component Plus/Multi LABELIST Preview Component)
不具合	発行情報の分離を設定した場合に、可変長ラベルの紙送り量が保持されない件を対策
不具合	可変長ラベルで複数行のデータで発行すると、すべてのラベルが最終行の用紙サイズで発行される件を対策
不具合	プレビューでUPC-Eのチェックデジットが2になる場合に読み取りできない件を対策(対象:Multi LABELIST Preview Component)
不具合	プレビューでCODE93が読み取りできない件を対策(対象:Multi LABELIST Preview Component)

■Ver.6.2.1.0(Ver.6.2.2.0に含めてリリース)

分類	内容
—	MLファイルのバージョンを「8」に更新
機能追加	以下のプリンタ機種に可変長印字機能を追加 「CL4NXシリーズ」「CL6NXシリーズ」「CT4-LXシリーズ」「HC4-LXシリーズ」「FX3-LX」「PW4NX」「PW208NXシリーズ」

対応内容一覧

Multi LABELIST WebEngineCS

■Ver.6.2.2.0

分類	内容
—	MLファイルのバージョンを「9」に更新
機能追加	バーコード、2次元コード、合成シンボルが描画できない場合に発行エラーとする機能を追加(発行時動作設定のエラー処理に「シンボル描画エラー」を追加)
不具合	発行情報の分離を設定した場合に、可変長ラベルの紙送り量が保持されない件を対策
不具合	プレビューでUPC-Eのチェックデジットが2になる場合に読み取りできない件を対策(対象:Multi LABELIST Preview Component)
不具合	可変長ラベルで複数行のデータで発行すると、すべてのラベルが最終行の用紙サイズで発行される件を対策
不具合	プレビューでCODE93が読み取りできない件を対策(対象:Multi LABELIST Preview Component)
システム	MLWebComponent.dll、MLPreviewComponent.dll を Ver.6.2.2.0 に更新

■Ver.6.2.1.0(Ver.6.2.2.0に含めてリリース)

分類	内容
—	MLファイルのバージョンを「8」に更新
機能追加	以下のプリンタ機種に可変長印字機能を追加 「CL4NXシリーズ」「CL6NXシリーズ」「CT4-LXシリーズ」「HC4-LXシリーズ」「FX3-LX」「PW4NX」「PW208NXシリーズ」
システム	MLWebComponent.dll、MLPreviewComponent.dll を Ver.6.2.1.0 に更新